

じゃりみち

…仮設支援情報…



第26号 発行日 1996. 9. 19

阪神・淡路大震災

「仮設」支援NGO連絡会

〒653 神戸市長田区御蔵通5-5

TEL: 078-578-6921 / FAX: 078-578-6923

E-mail: ngoteam@mb.osaka.infoweb.or.jp

口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

決国会体会のお知らせ

次回の全体会は、事務局の司会ではなく、「プロジェクト 1-2」の有光るみさんが司会をして下さいます！ さてどんな会になるのやら!? 乞うご期待。

9月25日(水) 18:30～ 阪神・淡路コミュニティ基金事務局の隣の会議室

阪神・淡路コミュニティ基金事務局(元町)

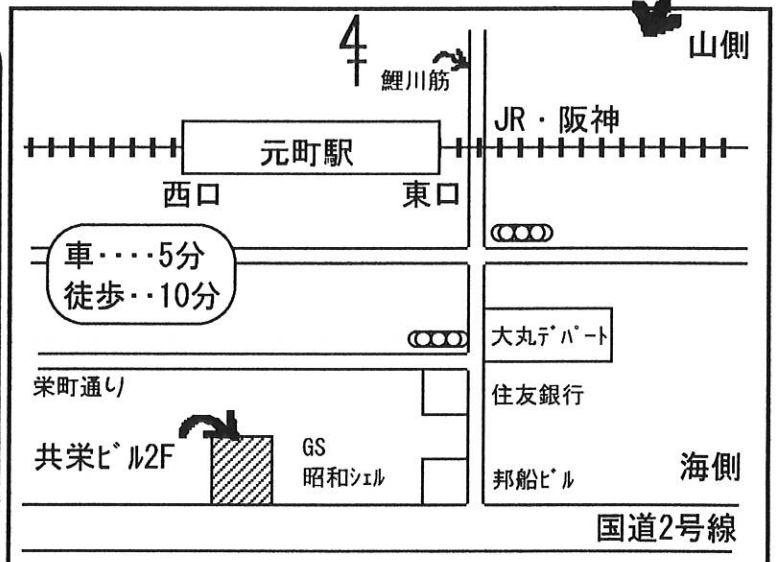
前回の寺子屋報告

前回の全体会は、はじめに総会以降に参加申し込みされた団体・個人会員の承認と、前々会の全体会で提案された、第4週を「かせつ寺子屋」から全体会にし、寺子屋を平日の夜に行うということの承認(近々行う予定です!)を行いました。また、今、国・県・市から具体的な生活支援のプログラムが出されていますが、中でも被災者にとって最も必要なのは、「生きがい・就労」についての内容ではないだろうかといった背景から、前回の全体会で「生きがい・就労」についてディスカッションをしました。

話し合いの結果としては、事務局が提案した仮設文化祭(仮設の人の手作り作品や、特技を生かして店などを開き、そこからつながりや、生きがいを見つけてもらおうというようなもの)には関心が高かったようです。また、手作りグッズを売ること・流通にのせることは難しい、それよりも「食」を中心に考えたらどうかといった意見や、来年の1月17日にむけて何か企画できないだろうか?、仮設だけでなく地域の人を巻き込んで行いたいなど、いずれにしてもこういう動きの中から「生きがい・就労」への糸口が見い出されれば、いいのではないのでしょうか。

また、共同プロジェクトのひとつである「移送プロジェクト」について「わかちあい阪神」の殿本さんに発表していただきました。各団体が各自で動き始めている中、マンパワー・資金・能率的にもNGOに事務局(1人か2人)を置き、共同でニーズを集約し、分担・依頼をしていったらどうかといった提案や、非常に多いリスク(事故など)をどうしていくかといった課題も提示され、これからの各共同プロジェクトへの参考になるようなものでした。

その他「もっと・ずっと・きっとプロジェクト」の共同プロジェクトに対する助成金もフェリシモの担当の方と運営委員会で協議・決定をし、助成金の振込が執行されました。



〒650神戸市中央区海岸通2-1-2 共栄ビル2F

TEL 078-333-4335 ※駐車場はありません!

被災者の公的支援は今...

被災者団体「阪神生活再建の会」が、先日昨年に続いて2度目の神戸ー東京リレーを終え、9月18日に総理府会議室で古川貞二郎・内閣官房副長官と会見し、「被災者の一人ひとりの実情に配慮したきめ細かな対応をしたい。」「被災者の要望に迅速に対応する生活再建支援チーム(仮称)を、新しく被災自治体に置く。」という回答を得たとのこと。

この会見には、わたしたち「仮設」支援NGOの会員である関西市民の会の佐々木さんも同行されました。神戸から東京は500キロあまりあります。皆さんに、理屈抜きのご苦勞様エールを送りたいと思います。(じゃりみち編集部)

村井くん無事に帰国!

中国・雲南省麗江ナシ族自治県
「麗江友誼中心小学校」開校式
...の報告。

9月8日、生徒数720名、地域住民2,000名の参加する中で開校式は行われました。新しい学校は倒壊した小学校5校を統合したもの。式の中で教師の代表が、「多くの友や財産を失って、辛い思いをしましたが、同じ地震の被害を受けた方々からの励まして明日に希望が持てました。」という感謝の言葉をいただきました。これからも様々な形で関わっていくことができればと思った中国行きでした。



< 仮設は今... >

西宮市編

「初めて訪問した時はとっつきにくかったおたくも、二度、三度お邪魔するうちに相手の方から話しかけていただいていた嬉しかった。」

これはこの夏休みを使ってボランティアにきてくれた大学生の活動報告書の感想からの一節です「プロジェクト結ぶ」では西宮市内11カ所の仮設住宅で、一件一件の個別訪問、お顔を拝見しながらのふれあい調査を行いました。ポカリスエットお配り大作戦「涼感プロジェクト」の一環です。

8月28日、西宮でも孤独死が発生しました。しよつちゅう通っていた仮設住宅だったので、わたしたちもショックが大きく、また、「何とか丁寧な訪問調査を続けたい」という気持ちも強くなりました。がて、日を負う毎に新しく来てくれたボランティアなどから「聞く内容を充実させよう」「ホームヘルパーや保健婦が関わっているのかも聞いてみよう」などの声があがるようになり、日に日に調査報告項目も増えていきました。

仮設住宅を巡回しているときりや体の調子を崩しているにも関わらず、保健婦さんやホームヘルパーの方々の援助を受けられない人々も多く実在するという現状を知ることが出来ました。

今回の夏の訪問では「熱いのに大変やねえ」と冷たい飲み物を出していただいたり、すき焼きパーティーに招いてもらったりと、心温まるふれあいの中で活動が出来、たいへん嬉しく思います。これからこのふれあい訪問を継続することで、お互いの思いを言い合える場づくりができればと思っています。

・・・人と物 つなぐのはここ・・・
ですよ！

プロジェクト結ぶ 横山直征

久しぶりに災害とあらばどこにでも出没する正村さんが、原稿を書いて下さいました。

「8・11宮城県北部地震の鳴子町鬼首を訪ねて」

今回「災害OUT・SIDE」の正村が96年8月11日未明に起きた宮城県栗駒町沼倉を震源とした被災地を訪ねてきた。

この地震災害で最も被害の大きかった鳴子町鬼首（おにこうべ）では、全壊被害はなかったものの半壊被害が23戸あり、そのうち、6戸が「被災建築物応急危険度判定」で危険と判定された。

この地震は最初8月11日午前3時12分に発生し、M5.9を観測、同3時54分と同8時10分にも震度5を観測した。最初の地震が未明であった事と、8時10分迄には朝食などを済ませていたことにより火災は起きなかった。

震災の3日前に開通した鬼首から秋田県へ抜ける国道108号は、鬼首中川原地区と田野地区の間に架かる中川原橋が30センチの段差発生により、一時中川原地区が孤立した。また、地割れや側面陥没などにより寸断されたところもある。

9月4日現在、中川原橋は旧道を拡張して橋を補強、交互通行で仮復旧した。被害集計の最終結論は現在調査中。現在鳴子町では義援金を募集している。

(銀行振込) 七十七銀行鳴子支店
店コード606・口座番号5089433
鳴子町災害対策本部 経理部長
鳴子町収入役 大沼繁男様
(お問い合わせ)
宮城県玉造郡鳴子町字新屋敷66 鳴子町役場
TEL:0229-82-2111

災害OUT・SIDE 正村圭史郎

♥～定住外国人のための～「なんでも相談」

<韓国・朝鮮語通訳ボランティア派遣します！>

派遣が必要な方の人数・性別・年齢・希望日時を郵送又はFAXでお知らせ下さい。

問い合わせ:兵庫県定住外国人生活復興センター

〒653 長田区海運町3-3-8 カトリック鷹取教会内

TEL:078-731-6926 FAX:078-737-5544

★特別試写会 「GAMA-ガマー 月桃の花」

「母の目から見た沖縄戦（沖縄戦集結50周年記念作品）」

～被災地で生き抜く勇気を！～

10/5 (土) 15:00～17:00 18:30～20:30 入場無料

場所:新長田勤労市民センター 待機所

(JR新長田駅南ジョイプラザ3階大会議室)

<問い合わせ:TEL:078-441-1236 高橋まで>

♠週末ボラ 仮設訪問予定

9/21 (土) 桜が丘中央(120戸)「西神中央駅」13:00 集合

9/28 (土) 岩岡第1(40戸)、竜が丘(96戸)

👉👉「JR大久保駅南口」13:00 集合

10/ 5 (土)・・・岩岡第2(625戸)

10/12 (土)・・・

10/19 (土)・・・

10/26 (土)・・・

問い合わせ:週末ボランティア TEL:078-795-6499

又は(携帯) 080-121-9709 東條まで

♣フェスタin湊川 11月24日にむけて・・・!

実行委員会に参加して下さい!(月1回)

第1回:9/22 (日) 13:00～16:00 福祉センターにて

問い合わせ:青い空★KOBÉ TEL:078-682-8278

事務局より

てれふおんかーど、く・だ・さ・い♡

じゃり発送代連絡会の電話代になります。一枚でもかまいません! おねがいたします。

ガレキは走る

(全国キャラバン日程表)



9/21~22	大阪府	大阪市	全国ボランティアフェスティバル	ガレキ・パ・レ 販売	
9/29	東京都	新宿区		講演会	(石井)
10/5~6	神奈川県		湘南学園1校委員会	ガレキ・パ・レ	(有光)
10/9	鳥取県	鳥取市		講演会	(石井)
10/11~12	茨城県	つくば市	筑波大学学園祭	ガレキ・パ・レ	

会場、時間など詳しいことに関しては「プロジェクト結ぶ」の石井 布紀子さんまで。

プロジェクト結ぶ：0798-64-5829 (FAX 0798-65-5254)

ふきちゃんのキャラバン日記 その1 ~96年夏の記憶から~

今までの話

『伝えるって難しい、でもやめられない』 つづきのつづき

話し合いが必要なくらい、連ボジウムの話や進行がアピール向けではなくなっている。だが、嬉しいことに、その夜の話し合いでは、みんなが様々な意見を出してくれた。最後に、「連ボジウムに出られた者は、全員協力して、少しでも前向きなアピールの場を作ってみよう。質問者として、発言者として、全員がチャンスを作り、何とか村井さんが自然な流れの中で発言できるよう工夫しよう」という合意を取るまでになった。

最終日の連ボジウムでは、縄文文化から見た“くらしのデザイン”といった風な話が進んでいた。私は、聞かせて頂きながら、「話としては面白い。でも、このままでは、古きよき時代の風習を知り、現代と比較したり、理想を描いたりするうちに終わってしまうのではないかな？ある程度の経済力に支えられた、“いい生き方”が可能ならだけが対象になる話とは言えないだろうか」などと思っていた。やがて、会場中から、感想や意見を募る時間がやって来た。

村井さんは、靴職人としての自分を興味関心をふまえ、まずは話し合いの内容について前向きな感想を話した。相手に対する配慮を感じるだけでなく、私は、村井さんの吸収力にビックリ。「何って柔軟な対応なんだと思う。」「ですが、個人的な感想だけではなく、もう少し話をさせて頂くと・・・」と、被災地の現状を少し語った。「上手いなあ」。次々にマイクが回り、キャラバンのメンバーはそれぞれ自分の思いを伝えた。中でも私の印象に残ったのは仲江川くんの発言。昨夜の会議の時には、積極的に発言しなかった彼の話に、私は魅きつけられた。彼は、仮設住宅を廻るうちに会ったおじいちゃんから、「衣食足りて礼節を知ることわざがある。でも、今の自分は思うような生活ができない中で、礼節すら失いかけています」というような話を聞いたそうだ。こういった現状をどのようにとらえ、どうつきあっていけばいいのかを、自分自身に問いかけながら話しているように思えた。仲江川君はキャラバンの運転手を何度も引き受けてくれ、全国あちこちの主催者の元へ瓦礫や写真を運搬してくれている。急な変更があっても、文句も言わず、淡々と仕事をしてくれるので、私はいつもとても感謝していた。そして、いつも裏方に徹してくれていた彼が、タベの会議で何も発言していないことに気づき、少し心配していた。「私のコーディネーター力のなさに愛想をつかして、それで、しゃべってくれないのかな？」などなど。だからなのか、私

は彼の話を聞きながら涙ぐんでしまった。いや、たぶん、涙ぐんだ理由はもっと別にある。

結局、ある時点から村井さんがアピールに踏み切った。これまでの全国の人々からの支援に対する感謝の気持ちにはじまり、現状報告。まだまだ問題があまりに多いことなど。私は、聞きながら主催者の方々に対して積極的・主体的になれなかった自分を悔やんだ。「もっと上手い設定で村井さんに話してもらうことができれば・・・」

連ボジウム終了後、「そんな阪神のことばかり、いつまで言っているの？」というような感想を村井さんに届けた人がいたそうだ。一方、私をわざわざつかまえて「もっと被災地の現状を教えて」「何かできることはある？」と聞いて下さった方もいる。これからますます、全国各地の人々にとつての震災の位置づけは多様化するのだろう。伝えるって難しい。でも、だからこそやめられない。今回のように、震災に関する興味が希薄になってしまった場所で、被災地の現状を伝え続けることが、今後はとても必要な仕事になってくるのかも知れない。被災地の動向に興味のある人とだけ、仲良しこよしの情報交換を続けたならば、非常に偏った部分の多い活動になってしまうような気がする。とはいっても、伝えるって難しい。一方的な思いや主張に走ると、聞き手はイヤな気分だけを残しがちになり、コミュニケーションが生まれにくい。現状アピールなどには、時に注意が必要？でも、だからこそやめられない。今回、一番嬉しかったのは、一人で出かける講演会などどちがい、みんな話し合い、協力して一つの場にのぞめたこと。またこのような機会があれば、きっと、何か進歩が生まれそうな気がする。

おわり。
プロジェクト結ぶ 石井布紀子

全国キャラバンひとくち日記

9月16日(祝)「自主防災訓練」

於：小田原市立足柄小学校グラウンド

好天の中、木材や家具、冷蔵庫を故意に重ね、それをのこぎりやジャッキ、パールを用いてどかし、中に埋まった人を助けられるようにする訓練が行われました。他にも起震車で震度7を体感したり、心臓マッサージなどの応急救護訓練などを体験(?)しました。

「訓練」と言うことで、参加者は和気あいあいと行動していましたが、実際に起こった時のことを考えると、本当にスムーズに出来るのかと疑問が残りました。

今回のような本格的な訓練には初めて参加したのですが、良い経験になりました。またこのような機会があれば、是非参加して、知識や技術を深めたいと思います。

ちびくろ関東ネット 神奈川支部 大林 秀喜